

熊本県立芦北高等学校 令和元年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業学習指導案

- 1 題材名 風水害に備える
- 2 日時 令和元年11月8日(金) 5限(13時30分～14時20分)、6限(14時30分～15時00分)
- 3 生徒 1学年(3クラス)
- 4 場所 武道場、各ホームルーム
- 5 授業者 1学年職員(学年主任1人、担任3人、副担任3人)
- 6 カリキュラム・マネジメントの視点

学校行事「避難訓練」leftrightarrowホームルーム活動「風水害に備える」leftrightarrow地理歴史「地理総合」

7 ねらい 風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方について考える。

8 展開

時間	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導のポイント ◆評価
13:30	1 心のケアを受ける。	○これから自然災害について学習します。災害について理解し正しく対処する方法を学ぶことは安全につながります。
13:35	2 風水害について知る。	○DVD映像(台風、豪雨、局地的大雨)を見る。 ◎熊本県(芦北町)でも様々な風水害が起きていることを補足説明する。 県内【不知火高潮災害(H11)、九州北部豪雨:熊本広域大水害(H24)】 芦北町内【集中豪雨(H18)、台風(H24)】 ○高潮災害発生のメカニズムについても触れる。
	3 熊本県の雨の特徴を知る。 ★雨温図を見て、熊本県の雨の特徴を考えよう。	○熊本県の雨の特徴について考えさせる。 ◎熊本県は6月中旬から7月中旬までの梅雨時期に雨がまとまって降り、7月の初め頃大雨になりやすい傾向がある。 ◎気候変動につながらない生活について触れる。 (省エネ家電、エコバッグ、キャンドルナイトなど) ○風水害は、発生前に情報を得ることができる災害で、市町村が発令する避難情報があることを理解させる。
14:00	各ホームルームへ移動	
14:05	各ホームルーム	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方を考えよう                 </div>	
	4 避難情報が発令されたときの避難行動について考える。 ★市町村や気象庁から発表される防災情報にはどんな情報がありますか。 ★避難情報発令された場合の具体的な行動について考えよう。 ★避難しない、遅れるなど、災害時の心理について考えよう。 (個人)(小集団)(全体)で考える	《防災気象情報をもとにとるべき行動、相当する警戒レベル》 ◎H31年3月に改訂された5段階の警戒レベルについて説明する。 ○資料から具体的な行動について考えさせる ◆風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方について考える。 【思考・判断・表現】〈ワークシート〉 ◎過去の災害から「避難しない」「遅れる」ことで被災している実態を説明する。災害時の人間心理(正常性バイアス)を理解させる。 ◎「釜石の奇跡」を例に、自ら率先して避難することが、周囲の避難行動を促すことにつながることを理解させる。
	5 学習のまとめをする。	
14:30	6 心のケアを受ける。	○本時の学習を振り返り、学習内容を深める。 ○生徒の心身の状態に十分配慮する。

熊本県立芦北高等学校 令和元年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業学習指導案

- 1 題材名 地震・津波災害に備える
- 2 日時 令和元年11月8日(金) 5限(13時30分～14時20分)、6限(14時30分～15時00分)
- 3 生徒 2学年(3クラス)
- 4 場所 視聴覚教室、各ホームルーム
- 5 授業者 2学年職員(学年主任1人、担任3人、副担任3人)
- 6 カリキュラム・マネジメントの視点

地理歴史「地理総合」⇔ホームルーム活動「地震・津波災害に備える」⇔学校行事「避難訓練」

7 ねらい 地震・津波災害について理解し、災害時の行動について考える。

8 展開

時間	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ○指導のポイント ◆評価
13:30	1 心のケアを受ける。 2 熊本における過去の地震・地震の種類について学ぶ。 ★過去にどのような場所で、どのような規模の災害が起こったのでしょうか	○生徒の心身の状態に十分配慮する。〈手引を活用〉  ○過去におきた地震・津波災害の被害や歴史について理解する。 〈映像資料、手引内資料を活用〉
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         地震・津波災害発生時の行動について考えよう                     </div>		
14:00	3 被害シミュレーション及び解説。 4 地震・津波災害からの身の守り方を理解する。 ★発生時に起こりうる危険を予測し、身の守り方を考えよう。	○映像を使い、地震の揺れの強さや一次避難の様子を見せる。 ○発生時の身の守り方や避難行動についてキーワードをもとに具体的に理解させる。
14:05	各ホームルームへ移動 ・グループで考える 5 発生時の行動について考える。 ★次の場所で地震が起きたとき、どのような行動を取ればよいか、事例をもとに考えよう。	○グループでキーワードを引き出し、意見を共有させる。 ○学校にいる時だけでなく、家や通学中など自然災害はいつ・どこで起こるか分からないことを確認。 ○身を守る行動として正しい知識が身につけているか確認する。誤りがある場合には正しい行動を理解できるようにする。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;">                         キーワード【地震】 姿勢を低くする。頭や身体を守る。揺れがおさまるまで動かない。                          落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に身を隠す。                          大きな地震の後も同規模程度の地震が起こることがある。等                          【津波】 速い、高い、繰り返す。・迷わず高いところへ避難し、戻らない。等                     </div>		
14:30	(1) グループで場面について考える。 (2) 全体で発表する。  6 学習のまとめ。	○自らが率先して避難行動を行うことで他者の避難行動を促すことができることを理解させる。(率先避難の視点) ◆とるべき行動について考えている。〈ワークシート〉 ○学習を保護者等とも共有し日ごろの備えが安心につながることをおさえる。

熊本県立芦北高等学校 令和元年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業学習指導案

- 1 題材名 安全なまちづくりへの参加
- 2 日時 令和元年11月8日(金) 5限(13時30分～14時20分)、6限(14時30分～15時00分)
- 3 生徒 3学年(3クラス)
- 4 場所 総合学習室
- 5 授業者 3学年職員(学年主任1人、担任3人、副担任3人)
- 6 カリキュラム・マネジメントの視点

生徒会活動↔ホームルーム活動「安全なまちづくりへの参加」↔公民「公共」

- 7 ねらい 地域防災の現状について理解し、安全なまちづくりへ向けた取組みについて考える。

8 展開

時間	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価
13:30	1 心のケアを受ける。 2 安全なまちについて考える。  ★災害に強い、安全なまちはどのようなまちだと思いますか。	○生徒の心身の状態に十分配慮する。〈手引を活用〉 ○過去の自然災害について知る(東日本大震災、九州北部豪雨、熊本地震) ◆自分たちの住む地域や学校周辺等の状況から、安全なまちはどのようなまちかを自然環境・ハード面・ソフト面について考えさせる。〈ワークシート〉
自分たちが住む地域を知り、安全なまちづくりのため、自分たちができることを考えよう		
13:40	3 地域ハザードについて考える。 ★ハザードマップと(資料)等の活用を知る。 ・芦北高校は、津波避難場所に指定されていることや特別警戒区域急傾斜地の崩壊、洪水浸水想定区域 1.0～2.0 未満区域であることなどを知る。	○地域の自然環境、ハード面の整備状況、ソフト面の定着状況それぞれについて現状が把握できやすいように、ハザードマップなどの資料を活用する 〈芦北町の防災マップを活用〉 ◎自然環境やハード面の状況についてハザードマップの見方に関する視点を示す。 ◎ソフト面においては熊本地震の経験からも、普段から地域の人の関わりについての視点を持たせる。
14:50	4 安全なまちづくりのために自分たちができることについて考える。 ★住む地域の状況を踏まえ、安全なまちづくりのために自分たちができることについて考えましょう。 (1) 個人で考える (2) グループで深める (3) 全体で交流する	○自分たちが地域の安全のためにできることについて考えられるよう、他県の中高生の取組み等を紹介。 ○ハード面等の課題については関係機関に提案できることを伝える。  ◆地域の状況から、安全なまちづくりのために自分たちができることについて考える。〈ワークシート〉
14:10	5 防災クイズ ①食料は何日分必要か? ②どのような食料を準備するか?	◆防災クイズを行い、個人でできる防災について考える。 〈ワークシート〉 ○食料の必要性やその他日用品で必要なものを示す。
14:15	6 まとめをする。	◎今日考えたことを意識して生活することが、防災意識を高めるとともに、共助や公助の意識にもつながることを理解させる。
14:30	7 各クラスで学習を振り返る。	○生徒の心身の状態に十分配慮する。